

## 随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和5年度大野川水系治水計画検討業務
業 務 概 要	計画準備、資料収集整理、治水計画検討、河川整備計画検討、事業評価検討、水害リスクマップ電子化、報告書作成 各1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 大分河川国道事務所長 河崎 拓実 大分県大分市西大道1丁目1番71号
契 約 年 月 日	令和 6年 2月 8日
契 約 業 者 名	(株) 建設技術研究所
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市中央区大名2-4-12
契 約 金 額	40,986,000円(税込み)
予 定 価 格	40,997,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	大野川流域
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 6年 2月 9日
履 行 期 間 (至)	令和 6年12月13日
備 考	

## 契約理由書

1. 業務件名 令和5年度大野川水系治水計画検討業務
2. 履行場所 大野川流域
3. 契約の相手方 住所：福岡市中央区大名2-4-12 CTI 福岡ビル  
会社名：株式会社建設技術研究所 九州支社  
電話：092-714-2211
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び  
予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由
  - 1) 当該業務の目的  
本業務は、大野川における気候変動を踏まえた河川整備基本方針変更に伴う新たな河川整備計画についての検討を行う業務である。
  - 2) 業務の内容  
計画準備 1式、資料収集整理 1式、治水計画検討 1式、河川整備計画検討 1式、事業評価検討 1式、水害リスクマップ電子化 1式、報告書作成 1式
  - 3) 契約に付する理由  
本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。  
参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を31者が入手(ダウンロード)し、1者から参加表明書が提出され、1者が参加資格を有していた。  
参加資格を有する1者を技術提案書の提出者として選定し、技術提案書が提出された。  
建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。  
特に特定テーマの「大野川の河道特性・課題を踏まえ持続可能な河川整備計画を検討するうえでの留意点について」に対する技術提案について「着眼点、問題点、解決方法等」について、総合的に優れた提案が行われていたものである。  
  
よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

大分河川国道事務所 流域治水課長